

ふくしま館報

第71号

発行日 平成31年4月5日
発行所 福島町公民館
編集委員 和泉浩一
渡辺正幸
印刷所 根上印刷所



「ご挨拶」

福島町町内会長

大石良能



新年総会において町民の皆様からご賛同を戴き、町内会長を再任することとなりました。引き続き今年一年職務を務めさせていただきます。

今年の冬は昨年とは打って変わり穏やかな日が続いていました。昨年を振り返りますと二月の大雪から始まって七月の大雨、猛暑と続き、大型の台風もたくさん日本列島を襲いました。能美市でも台風や大雨による警報が頻繁に出されていましたが大雨には至りませんでした。福島町も大雪により町内全域で皆様の生活に大きな影響がありました。町内の施設や一部の個人の家では雪による被害も出ております。幸いにも福島町には大きな被害がなく無事一年を過ごすことができましたのではないかと思います。

昨年からは福島町周辺では変化が起きている。昨年三月に能美根上スマートインターチェンジが開通しました。開通利用量は全国でも珍しく計画交通量を二倍も上回る利用となっています。それにより福島町でもインターチェンジ使用に伴う交通量の変化があったのではないかと思います。また町の東側を通っている金沢・美川・小松線も福島町から吉原町へ向かう工事も進められていきます。この道路に沿って産業団地の計画も徐々に進んでいるところです。福島町は今後能美市の重要な発展の場所となるのではないのでしょうか。

ところでこの一年間町内会長を務めまして感じたことは福島町への新たな入居

者が増えてはいますが、一方では一人暮らしの方や高齢者の方もたくさんおられるということも改めて知りました。今年二月時点の福島町は七六五世帯、人口二〇五九人となっています。福島町の総人口に対する六五歳以上の方の割合を示す高齢化率は、昨年の資料ですが二五・一%となっています。これは単純に考えても四人に一人の方が高齢者ということになります。これからはより一層隣近所の声掛けや助け合いが大事になってくると思います。

いま能美市では住民主体の地域福祉活動を推進し、各地域に地域福祉委員会を結成させ、地域ごとの取り組みを行っていくように指導しています。福島町でも地域福祉委員会があり民生委員、福祉推進員、町内会の福祉推進委員や、その他過去に町内会に協力していただいた方々も交えた活動を行っております。これからも地域主体による見守り、支え合い、ふれあい活動を進めていきたいと思っています。また町民の皆様にも隣近所、助け合いという気持ちで大事にして頂きたいと思っています。

今年、防災士の講座を受講させていただきました。自助、共助、公助ということがよく言われますが、まずは「自分の命は自分で守る」という自助の備えが必要で、次に地域で協力し合う共助が大切となります。町内会では自主防災会による安否確認票を作成し、防災訓練を行いながら班長さんに隣近所の状況を把握していただいております。これらの事を活用しながら今後は防災意識と地域福祉活動がともに連携し合って地域を見守るような福島町を築き上げていかなければなりません。

町内会では各団体や町民の皆様方とともに良い福島町づくりを目指していきます。これからもどうかよろしくお願ひします。

一年間を振り返って

福島町壮年団团长

伊藤 由鶴

春に向かつて季節は少しずつ流れています。朝明るくなる時間も早くなつて来ており、あわただしく過ぎる日々の中で桜の花が咲くのを楽しみにしています。

お正月に小松イオンで「ボヘミアン・ラプソディ」と言う映画を観て来ました。「QUEEN」というイギリス出身のロックバンドの話でアカデミー賞にも輝きました。とてもお勧めです「ぜひ！」

はなしはさておき、一年を振り返ってみますと夏祭りとお祭りが印象に残っています。「夏祭り」は、ビールを飲みながら焼き鳥を焼いてみな様に食べていただいで喜んで



らう、「秋祭り」は、お神輿を担いで町内を練り歩きみな様に喜んでもらう、喜ばれるからこそ毎年頑張つてやらんなんと思う。この伝統を次の代へと繋いでいきたいと思えます。いろいろありがとうございました。

一年間を振り返って

福島町婦人会会長

福里 桂子

五時一八分小松釜のしらさぎ号に乗り車窓の暗闇を眺めながら原稿を練っています。

私事ではありますが、実家の母が二月八日に救急車で運ばれてから二週間、婦人会の総会（ほとんど準備は他の役員さんがして下さるのだけれど、）の準備やら何やらで気持ちだけは一杯いっぱい。もう飽和状態というときに、実家の母の事でも頭はいっぱい一杯。二つのいっぱいいっぱいに、頭の中は行ったり来たり二週間が過ぎ昨日三十年度婦人会総会を無事終えることができました。

福島町の婦人会のすごい所は、歴代の会長さんがずっと残つて下さり活動に加わっていることです。頼りない私がある時はこうしたらいいよと

助言をしてくれたり、ある時はこは会長が決めたことにみんなが従う場所だよ！と大きな声で言つて頂いたり。一年がたちましたが、会員の皆様、役員の皆様にお世話になりつばなしの私でした。感謝の気持ちでいっぱいです。

そして又私事になるのですが、けれど、実家の母の行く末を決断しなければならぬ場合で、これが婦人会での経験が実に役に立っているということを感じます。半世紀の齢を重ねてはいますが、まだ未熟者。先輩たちに、実はね実家の母がね、なんて話をしますと親身になって自分の時の経験を話してくださる。人間が先輩の経験談を聞くということとは、ものすごく落ち着き安心するということなんです。今冷



静な判断ができて（と思つている）自分が不思議なくらいです。これは婦人会での経験がものを言つてるなると信じています。車窓に見える梅の花を見て、ほっと心を和ませていきます。本当に一年間ありがとうございました。

真つ暗なうちに家を出たので、着いた先は通勤通学時間帯。自分が三十年前に着いた同じ制服に身を包んだ高校生が名鉄電車で向かいの席に座っている。試験前なのか赤い下敷きでノートを隠している。あの頃を思い出す。娘が隣に座っていたら「おかん、ガン見しすぎ！」と怒られちゃいそうです。

一年間を振り返って

福島町青年団团长

土田 敬介

青年団团长を務め、早くも一年が経とうとしています。至らぬ点も沢山あり、団員の方々には何かとご迷惑をおかけしましたが、無事に青年団行事を終える事が出来ました。この場をお借りして御礼申し上げます。

私自身、初めてのリーダー経験をしました。慣れない立場の為、全て自分ひとりで

背負い込み、やり切ろうとしていたところを、先輩方のアドバイスにより、スマートに務める方法を学ばせて頂きました。

思い返せば、各行事にて各団体が町を盛り上げようと尽くしている姿や人と人との関わりに驚き、そして印象的でした。その姿に負けない様、青年団は、夏祭りではかき氷を、秋祭りでは獅子舞で尽力しました。毎日の練習では、団員が交代勤務で夜の練習に來れなかつたり、残業で遅くなつてしまつたりと苦戦した部分もありましたが、団員一人ひとりの祭りへの熱い思いにより、みっちり練習を行い、本番を迎える事が出来た事に達成感を感じました。

ここ数年、青年団への入団者数が非常に少なくなっています。地域の活性化の為に「若きチカラ」が必須項目だと思ふのですが、年々、団員の平均年齢が上がってきているのを見ると、苦しい状況になる事が予想されます。町としても青年団としても「若きチカラ」を求めているので、新たな仲間達と一緒に町を盛り上げてみませんか！青年団はいつでも団員を募集しています！

最後になりましたが、今年

一年も各団体、個人の方々のご理解とご協力のおかげで無事終える事が出来ました。一年間本当にありがとうございます。今後共、宜しくお願い致します。

一年間を振り返って

きらめきくらぶ代表

仙台美智子

ポカポカと暖かな躍動の春到来。

当初代表をお受けした時は、不安ばかりでしたが、会員の皆様のお力添えをいただき、行事を無事に進める事が出来ました。

四月は健康スマートウォーキング。「のみ電跡・桜ウォーキング&フォト」に参加し花見を楽しみました。又、西川沿い花壇の草むしりにも参加。

六月は花いっぱい運動で、うらら公園、三角花壇にサルビア、ペコニア、マリーゴールドなどを植え、十月まで交替で水かけ、草むしりをしました。

七月はハーバリウム（植物標本）作り。講師の方に教えて頂き、それぞれに美しく仕上げました。

八月はふくしま夏まつりに

参加し、おにぎりとかき揚げを販売。

九月はプリザーブドフラワーで、可愛い花籠を作り、十月にはハーバリウムと共に文芸祭に出品。

十一月、京都宝厳院と嵯峨野・嵐山もみじ舟の日帰りバス旅行で、紅葉を楽しみました。十一月とは思えない暖かな日差し、川の水面がキラキラと美しく輝き、又渡月橋をどれほどの人々が往来し、歴史を変えたのかと。

すれ違う様々な国の人の多さにもびつくりし、美しい風景を愛で、美味しいものを食べ、幸せを感じるのに国境はないと、今日の平和に感謝。

いつまでも続きますようにと。十二月、出前講座で市食生活改善推進員さんを講師としてお招きし、「低栄養予防と骨太クッキング」を調理実習。その後、ケーキとコーヒードクリスマス会。

一月は新年お茶会。茶道教室を開いておいてる会員の方に、朝早くからお道具を準備して頂き、お作法を習い、緊張しながらも和やかにお点前を頂戴し、ほっこり心豊かなひと時。

三月、総会。行事事計報告を行い、次年度の行事を話し合いました。会員の皆様にご

協力いただき、沢山の事を教えてもらい無事にこの日を迎える事ができ、誠にありがとうございました。

一年間、至らない点多々あったと思いますが、懲りずにお付き合い下さり感謝いたします。

人も国も、制約を超えて、絆を結べる。との映画の見だしに心うたれます。人と人が、国と国とが、強い絆で結ばれますようにと、祈るばかりです。すべてに感謝して、すべてに喜びを見つけて、教えを乞い学びながら、一日一日を大切に重ねてゆきたいと思う今日この頃です。

一年間を振り返って

福島町浜小PTA会長

野村 雄司

日頃から、町内PTA活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

平成三十年度も、PTA行事をすべて無事に実施できました。これもひとえに、町民の皆様、各団体の方々のおかげです。心より感謝申し上げます。

本年度、児童数は一一八名、五年生の保護者役員で運営いたしました。各児童の成長を

願い、有意義な活動になるよう、ひとつひとつ企画実行いたしました。

春には、スポーツフェスティバルへ参加しました。児童の参加した大縄跳びでは、グループ一位、リレーではグループ二位の成果をあげることができました。しかし、スポーツフェスティバルでは、一部の町民のみしか参加できていない現状を見受けました。種目参加予定の児童だけでなく、皆が集まって参加できるように取り組みを行えば、もっと参加しやすい、有意義な行事になると強く感じました。

夏には、恒例のラジオ体操を北部児童センターのグラウンドで行いました。町民の皆様にもご参加いただき、ありがとうございました。今では、学校でラジオ体操を行わないため、児童の積極性がまだまだ少ないのが課題のひとつです。これからも町民の皆様のお力添えをいただければ幸いです。

本年は猛暑だったため、夏場の行事では、暑さ対策をしっかり行い、児童の体調面、安全面を踏まえ配慮しました。

秋祭りの子供獅子は、青年団やOBの方のご協力を賜り、二週間前から練習を進めました。慣れない動きに苦戦して

いた子供たちでしたが、当日は晴天にも恵まれ、数多くの地域の方にご覧いただき、子どもたちにとっても貴重な経験となりました。

福島町のPTA活動は、それぞれ忙しい仕事や家事の傍ら、毎年五年生の保護者が中心となり、進めております。これまでの伝統を尊重しつつ、各行事の概要の把握から、他団体の方との打合せ、企画、準備、当日の運営まで、役員それぞれの協力がなければ、成し遂げることのできないことばかりで、大変勉強になりました。

参加した児童の充実した表情や喜ぶ姿を間近でみる事ができ、貴重な一年となりました。これで、今年度のPTA活動の中心からは離れることとなりますが、地域の一人として、これからも協力の手を緩めることがないよう、携わっていかれたらと考えております。

また、町民の皆様には次年度以降も変わらずの御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。ありがとうございます。



平成30年度

公民館行事の催し物

花見の会

四月八日(日)、一昨年に続き昨年も雨天となり、福島町会館での実施となりました。朝から田んぼの清掃(ゴミ拾い)を行ったメンバーや同期会のメンバー、ご家族連れなど、皆様、それぞれ食事を持ち寄り、親睦を深められました。

今回はバンドの皆様が花を添えていただきました。おかげ様で華やかな宴席となりました。花見の会は、毎年、公民館行事として開催しています。今年こそ、快晴の元での宴席が出来ます様祈ります。



西川遊歩道 花いっぱい運動

四月二十二日(日)、快晴の中、たくさんの方の協力の元、実施されました。今回は、お子様方の応援もいっぱいでした。

西川遊歩道は、老若男女皆様の憩いの場です。おかげ様で、大変綺麗になりました。今日のこの日だけでなく、常日頃より、町の美化に皆で心掛けましょう。



スポーツフェスティバル in 根上

風がもの凄く、少し寒い日となりました。五月二十日(日)、昨年も町民一体となつての大活躍でした。

お見事！ブロック第一位を勝ち取ったのは大縄跳び。PTAの皆様と子供たちの総力を結集しての快挙となりました。

三連覇の重圧が重くのしかかりながらの展開となりました。男女混合元氣リレーは、今



回も見事ブロック第二位！お家芸の面目を保てました。町民の皆様、今年もまた頑張りました。五十歳以上の皆様の活躍の場も多々ございます。たくさんの方の参加をお待ちしています。



花いっぱい運動

六月三日(日)、快晴の中の実施でした。公民館運営委員をはじめ、きらめきクラブの皆様などが、農耕車洗車場や各公園などに花を植ええました。

花は人の心を豊かにしてくれる様な気が致します。町民の皆様も常日頃から、季節の花々をご自宅周辺に植えてみ

ませんか。花いっぱい、幸せいっぱいの福島町であります事を祈ります。



日帰りバス旅行

七月十五日(日)、百名を超える町民の皆様がバス三台を連ねての日帰り旅行。気温三十八度を超える快晴の中の京都へ向かいました。

まず見学したのは、京都鉄道博物館です。昔懐かしい蒸気機関車やリアルタイムで乗った〇系新幹線など、小さかった頃の事を思い出しました。次に福島町一行は、東山清水寺付近へ移動。清水寺の有名な舞台は、残念ながら修理中で、いつもの勇姿はおあずけでした。照りつける太陽の元、滝の様な汗を流しながらの散策でした。

八月五日(日)、お待ちかねの夏祭り。午前中から公民館運営委員により、舞台など

ふくしま夏祭り ふれあいの夕べ



この「館報」が届く頃には、「今年は何処へ・・・」が話題になっているでしょう。今年も楽しいひと時を、皆で過ごしましょう。



の準備が行われます。さらに各団体が、手作り料理や焼き鳥コーナー、かき氷などの準備をし、町民の皆様のお越しをお待ち致します。
全ての団体と町民の皆様が一体となる一大イベントです。昨年も各種の催し物が行われ、ビンゴ大会ではたくさん景品をお持ち帰りいただきました。今年も夏に実施致します。お楽しみに。



十月二十一日(日)、二年に一度の福島町文化祭が開催されました。福島町会館に町民の皆様作品が、所狭しと展示されました。
今回の催し物は、「きりちやんバンド」の登場でした。お二人は師弟関係にあり、歌の力で、会場は一体となり盛り上がりました。
次回はオリンピッククイヤーでの開催となります。その日まで、創作活動を鋭意お楽しみ下さいませ。

福島町文化祭

2019年 行事予定

福島町各種団体代表ご紹介

・ 壮年団团长	吉原 雅人
・ 婦人会会長	宮西 美紀
・ 青年団团长	桐本 弘之
・ きらめきくらぶ代表	高橋 朝子
・ 浜小PTA会長	北本 大
・ 百寿会代表	福益 米作

公民館行事予定

4月 5日(金)	各種団体顔合わせ ふくしま館報発行
7日(日)	花見の会
21日(日)	西川遊歩道花いっぱい運動
5月19日(日)	スポーツフェスティバルin根上
6月 2日(日)	花いっぱい運動
7月14日(日)	日帰りバス旅行
8月 4日(日)	福島夏祭り
10月26日(日)	能美市文化芸能大会

福島町公民館運営委員

館長	和泉 浩一	副館長	田中 和彦
会計	吉原 雅人	事務局	渡辺 正幸
運営委員	白江 俊孝	吉岡 康廣	沖田 和典
	福田 誠一	沖野 博人	秋常樹一郎
	坂本 晃一	足立 憲司	坂野 勇人
	橋本 俊一	森 充徳	中西 宏樹
	末信 智	三島 浩史	北本 大
	長谷 寿人	佐々木雅大	福益 和樹
	朝本 和裕	伊藤 由鶴	井南 義一
委員顧問	大石 良能		

2019年 福島町町内会役員名簿

町内会長	大石良能				
会長代理	高塚 已紀雄	総務	福田 誠一		
会計	青山 繁	書記	辺見 憲昭		
参議	山本 悟	参議	仙台 謙三		

福島町町内会委員会

福島町町内会には6つの委員会があり、各委員会は町内会長以下の役員と生産組合長、公民館館長が複数の委員会に所属しており、各委員会の運営を行っています。

土木委員会

◎高直人 塩谷 哲弘 朝日 勉 高塚 善衛
沖田 和典 高塚 亮三

◎は委員長

●町内の土木工事に関する事業の検討・補修・改修を行っています。町内の土木のことでご要望、ご意見がありましたら、ご相談下さい。

福祉厚生委員会

◎高塚 亮三 亀田 誠次 青山 繁 桐本 勝弘
須貝 康弘 吉岡 康廣

●町民皆様の生活福祉に関する快適な環境づくりのための活動を行っています。

児童の見守り活動については、児童の保護者はもとより、老人会、婦人会、民生委員など各種団体の協力を求めて、日頃の声かけ、挨拶運動を呼びかけています。また、高齢者が元気で長生きできるよう、健康教室を開催しています。その他、追悼法要も執り行っています。

生活環境委員会

◎沖田 和典 桐本 勝弘 朝日 勉 坂野 精進
朝本 和裕 坂野 勇人 亀田 誠次 高直人

●従来の『厚生委員会』を、活動をそのまま継続する『生活環境委員会・環境美化委員会』と、「これからの福祉」のためにと『福祉厚生委員会』を、平成18年に設立しました。当生活環境委員会は、町内の美化、環境改善のための活動を行っています。

広報委員会

◎渡辺 正幸 高塚 已紀雄 朝本 和裕 須貝 康弘
和泉 浩一 辺見 憲昭

●町内会や各種団体、公共施設からの催し物案内や連絡事項のほか、町内における身近なニュースなどを福島町だよりに掲載して、町民皆様から親しまれる広報誌を発行しています。また、福島町ホームページの運用も行っています。

自主防災会

◎吉岡 康廣 塩谷 哲弘 沖田 和典 辺見 憲昭
坂野 精進 渡辺 正幸 坂野 勇人

●町民の隣保共同の精神に基づく自主的な防災活動と地震などの災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的として活動しています。今後は災害時を想定した訓練等を行いたいと思います。

防災委員会

◎坂野 勇人 自衛消防団団長 長谷 寿人

●町民の生命・財産を守るため自衛消防団による防災活動を行っています。また「福島自衛消防団協力隊」を結成し、初期消火活動への対応も強化しました。

神社係	朝日 勉	公民館館長	和泉 浩一	福島町公民館
神社係	福田 誠一	公民館管理人・町内連絡係	小西小夜子	55-3948
生産組合長	高塚 善衛	放送係	一村 小枝	福島日吉神社
				55-0457

■福島町人口動態…[世帯数]765 [男性]998人 [女性]1,061人 [計]2,059人 (平成31年2月1日現在)